

学生の進路選択及び心身の健康等に係る支援

<松山看護学部>

時代が求める看護教育を統合した最先端のカリキュラム

1. 資格取得への支援

国家試験 100%の合格をめざして、「国家試験対策室」を設置するほか、集中講義、模擬試験などで万全の体制を組織し国家試験をサポートします。

また、「看護師資格+α」のスキルを身につける「4つの選択強化プログラム」制度（小児看護、がん看護、認知症看護、在宅終末期看護）や、「保健師」の資格取得を目指せるコースも用意しています。

2. 基礎ゼミナール

1年次前期に開講される「基礎ゼミナール」は、これから大学で勉強していく上において必要なアカデミックスキルの修得や知的探究心を鍛錬することを目的にしています。また、少人数教育による教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、ポートフォリオを作成することで、キャリア・ストーリーを描くことができます。

3. 学習・生活をサポートする「メンター制度」

学生が有意義で充実した大学生活を送れるよう、専任教員による「メンター制度」を実施しています。学習・進路面はもちろん、学生生活の相談など4年間を通して手厚い支援を受けることができます。メンター教員以外にも、教員が示したオフィスアワーを利用して気軽に相談をすることができます。

4. 学生相談

大学生活で困ったこと、身心の悩み、将来に不安があるなど、話を聞いてほしかったり相談したいときには、学生相談担当の教員や臨床心理士が対応しています。また、ハラスメント問題専用の窓口を設け、様々な問題に対応できるようにしています。

5. 健康管理

年に1回健康診断を実施し学生の健康チェックを行うことで、病気の早期発見、早期治療ができるよう配慮しています。なおかつ医療に関わる専門職として、自発的に自身の健康管理ができることを目指しています。1年次の健康診断では、病院実習に備えて感染症抗体検査を実施し、抗体値が基準に満たない場合には予防接種の指導を行い、感染症予防に努めています。

6. 就職支援への取り組み

本学では1年次より、「医療キャリアの基礎」として単位化されたキャリアデザインに取り組みます。ここでは、キャリア形成の在り方や医療専門職を経験した教員からそれぞれの専門領域について学ぶほか、具体的な実践看護の活動を通じ、主体的にキャリア設計を描いていきます。

また、インターンシップへの参加推奨や、就職先の相談、就職後の支援など、きめ細やかなフォロー体制の整備を行って参ります。

7. 地域に根ざした大学

愛媛県は全国的に見ても看護師の離職率が高く、優秀な看護師を一人でも多く地元へ根付かせようと力を注いでいます。そこで、地域に根ざす看護師の育成に向けて、教員それぞれがこれまでに培ってきた知識・技術、倫理観などを、生活圏や山間・島しょ部など固有の医療事情を抱えた四国において、さらに発展させていこうとしています。また、山間部における在宅ケアや、島しょ部の地域医療を担う巡回診療船「済生丸」での実習を行い、地域密着型の医療機関で最前線の地域医療を学びます。